

NO.24 プーメランで数学を

西山 豊 (大阪)

夜の大交流会でプーメランの実演をする
ことになった。板目紙で作ったものを投げ
た。3~4メートルほど飛び戻ってきた。
おお! 会場はどよめいた。つぎに、7
~8メートル飛ぶものを投げた。
「これ以外に木製のものもありますが、危
険ですので紹介だけにしておきます」と言
ったところ「投げろ、投げろ!」の声がか
かった。

会場は固唾を飲んで見守った。木製のプ
ーメランはシュルシュルと勢いよ
く飛んだ。おお! 会場はどよめ
いた。体育館の天井近くまで飛ぶ
と方向を変えて私の手元に戻っ
てきた。両手を広げて真剣白刃取り
のようにキャッチした。「アンコ
ール、アンコール」のシュプレヒコ
ールに応じて2投目を投げたが、
これも成功した。会場は感動と興
奮のつぼと化してしまった。

後で、プーメランの型紙が欲し
いという声が続出したので、大会
速報 No.27 に載せてもらった。

翌日の分科会は予想以上に多く
の参加者があった。紙プーメラン
の作り方と投げ方を説明した。図
は、私の考案した戻りの正確な

「後退翼プーメラン」の型紙である。

板目紙の上に型紙をのせて鉛筆でかたど
りハサミで切り抜く。そして点線を山折り
にする。これで出来上がり。

プーメランの投げ方は、「手首の回転を
与えること」「立て投げをすること」の2
つが基本である。参加者全員が紙のプーメ
ランを作り、自分でキャッチすることがで
きた。この後、外に出て20メートル以上飛
ぶ木のプーメランを投げてもらった。

プーメランについての詳しくは、拙書
『プーメランはなぜ戻ってくるのか』(ネス
コ)を参考にされたい。

98全国中学校集いは5月11日(日)に
「理言」受け、中学のカリキュラム
について、じっくり討議する予定です。
詳細は「数学研究」でお知らせします。
予定しておいて下さい。
(事務局 東教数 井上 正亮)

お知のせ
「これボ プーメランの
型紙だ」
速報部が終力どと西山先生から完全取材、急送部が即ち

【投げ方】
1.翼先と縦指
と人差指で
つまむように持つ。
2.プーメランは立て
て投げます。
3.充分な回転を
与えます。
4.目の高さで投げ
ます。
5.約3~4m
飛んで
戻ってきます。

【作り方】
1.白表紙(厚手の画用紙) B4版だと
3本とれます。
2.型紙は141%で拡大すると原寸に
もどります。
3.ハサミで切り取ります。
4.点線を山折りします。サウスポーの方は
山折りを谷折りして下さい。

AM1

【集まりたい人】
AM1

プーメランで数学を 5月 数研 No.24

数教協第43回全国研究湯沢大会報告

特集

湯沢の集い 夜祭り



▲夜祭り 地元の人達の踊り

夜7時、夜祭り開始時刻。人の姿はちら
ほら。ポスターセッションの前で足を止め
見入っている人、中央に用意された9つの
テーブルに座っている人もまばら。さて、
皆さんがこの集いに足を向けてくれるのか
少々心配になる。まる一日、しかも5時ま
での分科会の後である。ゆったりと夕食を
とっている人達も多いだろう。

しかし、いつのまにやら人はいっぱい

になった。夜祭りのフィナーレで、舞台の上
では「さあ、みなさんも踊ってみましょ
う! 右足、左足、一步、二歩、三歩でチ
ョン、チョン!」とはずむ声で踊りの手ほ
どき。九州地区の人達による“サンバ・お
てもやん”が始まる。それに合わせて、テ
ーブルに座っていた人達も、笑いながらリ
ズムにのって踊り始めた。そして、会場い
っぱいに踊りの輪が広がっていった。にぎ